

2020年度 長野県岡谷東高等学校シラバス

教科	地理・歴史	科目	世界史B	単位数	3	学年	3	コース	教養フロンティアコース（人間系）
								必修・選択	選択（A群）
使用教材	教科書	東京書籍「世界史B」							
	副教材	第一学習社「ダイアログ世界史図表」							

学習目標

- ①世界の歴史への興味・関心を高め、主体的に探究していく態度を身につけます。
- ②世界の歴史の大きな枠組みと流れを、地理的条件や日本の歴史とも関連付けながら理解します。
- ③文化の多様性と現代世界の特徴を多角的かつ広い視野から考察し、歴史的思考力を培います。
- ④世界史についての資料を適切に選択し、資料に基づいて考察した結果を適切に表現する力を身につけます。
- ⑤現代社会が直面する諸課題について、歴史的観点から考察し、主体的な追究を通して認識を深めます。

学習方法

歴史的事象を資料や史料、様々な情報から読み取り、多角的・多面的に考察することによって、歴史的思考力を身に付けられるような学習を進めていく。

学習評価

○次の四つの観点に基づき、学習内容のまとまりごとに下の評価マトリクスにより評価を行い学年末に5段階の評定に総括します。

①関心・意欲・態度	・歴史的事象に関心をもち、課題を意欲的に追究しようとする。 ・主体的に調べたり、協働的に活動するなど授業に積極的に参加しているか。
②思考・判断・表現	・歴史的事象から課題を見出し、歴史の大きな流れと各時代、各国の特色などを多面的・多角的に考察し、公正に判断することができる。 ・学習問題に対する考えを友人の意見や資料から読み取り、まとめたり、説明することができる。
③技能	・資料（図表を含む）や史料、情報、映像などを効果的に活用することを通して歴史的事象について追究する学びができる。また、有用な情報を適切に選択し活用することができる。
④知識・理解	・世界の歴史についての基本的な知識を身に付け、各時代の特色や日本の歴史と関連のある事象について理解することができる。

評価方法\観点	評価の観点				備考
	①	②	③	④	
授業自己評価	◎				毎単元終了後授業に対する取り組みを自己評価する
学習シート		○	◎		
レポート	○	◎	○		
小テスト		○	○	◎	単元終了後
定期考査		◎	○	○	

※表中の◎は観点の中でより重視するポイントです

※それぞれの評価の観点はA、B、Cの三段階で評価します。

学習方法等のアドバイスなど

- ・毎時間の学習の目的を理解し、多角的・多面的に物事を見ること、一つ一つの事象を整理して見ることを意識して取り組むこと。
- ・歴史的事象の因果関係を理解することで自然と歴史の流れをつかむことができるようになってきます。

年間学習計画

学期 時間数	学習内容	学習のねらい	学習活動 【評価方法】
1 学期 33単位時間	第14章 近世のヨーロッパ 1 主権国家群の形成と宗教改革 2 オランダの繁栄と英仏の追いあげ 3 18世紀のヨーロッパと啓蒙専制国家 4 近世ヨーロッパの社会と文化 第15章 欧米における工業化と国民国家の形成 1 激化する経済覇権抗争 2 工業化による経済成長と社会問題の発生 3 合衆国とラテンアメリカ諸国の独立 4 フランス革命とウィーン体制 5 自由主義の台頭と新しい革命の波	海路の開発によって文明社会間の交流が一層活発化し、アジアの繁栄とヨーロッパの拡大を背景に、諸文明社会の交流が一層進展して世界の一体化が始まり、世界の構造化が進んだことを学習します。	【評価方法】 単元終了後に行う自己評価、小テスト 学習シート レポート 定期考査
2 学期 45単位時間	第16章 産業資本主義の発展と帝国主義 1 イギリスの覇権とヨーロッパ諸国 2 南北アメリカの発展 3 第2次産業革命と社会生活の変化 4 植民地獲得競争と動揺する世界秩序 第17章 アジア諸地域の変革運動 1 西アジアの改革運動 2 南アジア・東南アジアの植民地化と民族運動の黎明 3 清の動揺と変貌する東アジア 第18章 世界戦争の時代 1 第一次世界大戦 2 ヴェルサイユ体制と国際秩序の再編 3 大戦後の合衆国とヨーロッパ	科学技術の発達や工業化の著しい発展を背景に、地球規模による世界の一体化が進み、二度の世界大戦後、冷戦を経て、グローバル化の下で世界が相互依存を一層強めるなか、様々なことが地球規模の課題となって残っていることを学び、それらの課題を歴史的観点から資料を活用して探究していきます。	
3 学期 27単位時間	第18章世界戦争の時代 4 アジア・アフリカでの国家形成の動き 5 世界恐慌と国際対立の激化 6 第二次世界大戦 第19章 戦後世界秩序の形成 1 冷戦の形成と展開 2 植民地の独立と世界政治 3 東アジアの「熱い戦争」と経済発展 4 合衆国の覇権の動揺と再編	科学技術の発達や工業化の著しい発展を背景に、地球規模による世界の一体化が進み、二度の世界大戦後、冷戦を経て、グローバル化の下で世界が相互依存を一層強めるなか、様々なことが地球規模の課題となって残っていることを学び、それらの課題を歴史的観点から資料を活用して探究していきます。	